

# 熊本城下をめぐる追憶の物語

## 故郷を愛した画家・甲斐青萍

江戸時代には武家屋敷が広がっていた熊本城下は、明治から昭和にかけてその姿を大きく変えながら今日に至っています。

変わり行く熊本城下の町並みと人々の営みを記憶から呼び起こし、つぶさに描いた画家がいます。旧制・熊本中学校（現在の熊本県立熊本高等学校）の美術教師を務めた甲斐青萍（本名：英雄／1882-1974）です。本展では青萍が描き残した江戸から昭和に至る熊本城下の町並図や風俗画、スケッチを手がかりに、熊本城下の成り立ちや近代以降の変遷をたどります。

平成28年の熊本地震以後、熊本城下では「復興」と「再開発」が進んでいます。熊本城下の「これまで」と「これから」。—青萍が描いた城下の記憶を通して考えてみたいと思います。ぜひご覧ください。



90歳頃の青萍（個人蔵）

### 甲斐 青萍 (1882-1974)

明治15年(1882)、熊本県御船町生まれ。旧制・熊本中学校を卒業し、東京美術学校日本画科本科に入学。同校を卒業後、母校・熊本中学校の美術教員として着任。昭和14年(1939)、同校を退職し、細川家での菊池頭彰会に従事するため上京。昭和17年(1942)、疎開のため一旦帰熊するが、終戦後の昭和24年(1949)、再び上京。昭和49年(1974)2月24日、東京の自宅で逝去。享年92歳。町並図のほか、主に菊池一族をテーマとした歴史画を描き、特に馬の描写を得意とした。



1/重要文化財 安南国大都統官阮漢書簡 加藤清正宛(弘定11年) 本妙寺蔵 2/蛇目紋黒羅紗陣羽織 八代市立博物館未来の森ミュージアム蔵  
3/藤崎八幡宮御祭絵巻(部分) 公益財団法人 永青文庫蔵 4/肥後村々雨乞行列彩色画(部分) 熊本大学五高記念館蔵  
5/甲斐青萍人生スケッチ(部分) 個人蔵 ※会期中展示替えがあります

## 観覧料

一般 500円(400円)／高・大生 400円(300円)  
中学生以下 300円(200円)

※( )内は30名以上の団体料金。未就学児は無料。  
※上記料金とは別に博物館入場料(一般400円、高・大生300円、小中学生200円)が必要です。

## 関連イベント

参加費／無料  
(当館入場料が必要です)

### ●講演会

「甲斐青萍が描いた熊本町並図から見えること」

講師／伊藤 重剛(熊本大学名誉教授)  
日時／10月12日(土) 13:30-15:30  
会場／当館 講堂  
定員／50名(当日先着順、事前申込不要)

### ●熊本城下まち歩き

「甲斐青萍が描いた場所を訪ねて」

講師／伊藤 重剛(熊本大学名誉教授)  
日時／10月26日(土) 13:30-15:30  
集合場所／当館 講堂  
解散場所／熊本市役所前(予定)  
定員／15名(当日先着順、事前申込不要)  
※当日10時より熊本博物館受付にて整理券を配布します。

### ●講演会

「熊本地震からの城下の復旧について」

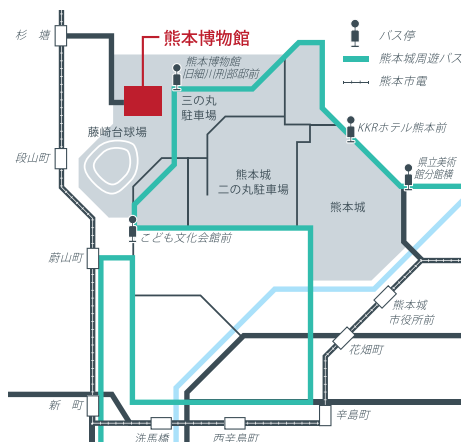
講師／富士川 一裕  
(NPO法人熊本まちなみトラスト事務局長、  
(株)人間都市研究所代表取締役)  
日時／11月4日(月・振休) 13:30-15:00  
会場／当館 講堂  
定員／50名(当日先着順、事前申込不要)

### ●当館学芸員による展示解説

日時／10月5日・11月2日・9日・23日  
(いずれも土曜日、14:00～/約40分)  
会場／当館2階 特別展示室1～3  
定員／各回20名程度(当日先着順、事前申込不要)  
解説／木山貴満(歴史)、竹原明理(美術工芸)  
※展示解説にご参加の方は、入場券のほかに本展の観覧券(有料)が必要となります。※開始時間前に本展会場入口にお集まりください。

## 交通アクセス

- バスを利用する
  - ・「交通センター」または「市役所前」下車、徒歩15分
  - ・熊本城周遊バス(しろめぐりん)で「博物館・旧細川刑部邸前」下車
- 市電を利用する
  - ・熊本市電「杉塚」下車、徒歩5分
- 駐車場
  - ・専用駐車場はありません。
  - ・近隣の三の丸駐車場(有料)等をご利用ください。



# RECOLLECTIONS of KUMAMOTO

〒860-0007 熊本中央区古京町3-2  
Tel.096-324-3500 Fax.096-351-4257  
https://kumamoto-city-museum.jp

熊本博物館  
KUMAMOTO CITY MUSEUM